

中国での鳥インフルエンザについて

中国でヒトへの感染や死亡者が確認され、強毒性に変異した可能性が浮上した鳥インフルエンザ（H7N9）について、最近の情報を取りまとめてみました。

感染者状況

インフルエンザ H7 型ウイルスは、通常、鳥類のなかで伝播しているインフルエンザウイルスです。今回のインフルエンザ A（H7N9）ウイルスは H7 型ウイルスの一つです。複数の H7 型ウイルスのうち H7N2、H7N3 および H7N7 では、ヒトへの感染が時折発見されてきましたが、H7N9 ウイルスのヒトへの感染は、これまで報告がありませんでした。

中国の国家衛生・計画出産委員会より、3月31日にインフルエンザ A（H7N9）に感染した患者が3人（死亡：2人、重体：1人）発生したと報告されました。

4月12日現在、中国でインフルエンザ A（H7N9）に感染したと確定された患者は38人で、このうち10人が死亡し、19人が重症で、9人が軽症です。

疫学

どのように感染したかは分かっていませんが、確定例の中には、動物や動物のいる環境との接触があった者がおり、また上海の市場のハト、ウズラなどからウイルスが見つかっています。動物から人への感染の可能性の含め、人から人への感染の可能性についても、調査が進められています。

中国に滞在する方は、今後の情報に注意していただくとともに、手洗いや咳エチケットをこころがけてください。また、鳥に直接触ったり、病気の鳥や死んだ鳥に近寄ったりしないようにしましょう。

Q & A

- ① ヒトからヒトへの感染は？
世界保健機関（WHO）は「ヒトからヒトへの感染を示す証拠はない」と述べています。
- ② H7N9 型ウイルスの検出された動物は？
ニワトリ、ハト、ウズラからウイルスが検出されており、中国の専門家は気候が暖くなるに従い、感染地域が北に移動していく恐れがあると指摘しています。
- ③ ワクチンは？
現時点では、このインフルエンザウイルスに有効なワクチンはありません。
4月10日には、国立感染症研究所に、中国からのウイルス株が到着しています。このウイルス株を用いて、ワクチン株の製造準備等、鳥インフルエンザ A（H7N9）の対策に必要な準備が進められます。
- ④ タミフルやリレンザは有効か？
世界保健機関（WHO）は治療薬のタミフルとリレンザが治療に有効とみられるとの暫定的な結果を得たと発表しています。

奈良県感染症情報センターは、中国の事例を注視し今後も最新情報を提供する予定です。

（感染症情報センター 記）